

指定管理者による公の施設の管理運営状況

令和3(2021)年度

施設名	栃木県那須野が原公園
施設所管課	県土整備部都市整備課
指定管理者	那須野が原公園指定管理グループ ・公益財団法人栃木県民公園福祉協会（法人番号 9060005007605） ・栃木県造園建設業協同組合（法人番号 8060005000511）
指定期間	平成31（2019）年4月1日 ～ 令和6（2024）年3月31日

1 施設の概要

施設所在地	那須塩原市千本松801-3
施設の概要	①指定管理者による管理面積 56.9ha（ファミリープールを除く） ②主要な施設 テニスコート、フィールドアスレチック、そり遊び広場、オートキャンプ場、サンサントワー、わんぱく広場、はらっぱ、緑の相談所、貸自転車、バッテリーカー、ファミリープール
業務内容	①公園の維持管理に関する業務 ②有料公園施設の利用の許可に関する業務 ③公園の運営に関する業務

2 収支の状況

令和3(2021)年度

(千円)

収入			支出		
指定管理※2	指定管理料	83,600	指定管理※2	事業費	8,191
	利用料金収入	34,004		管理運営費	70,471
	その他収入※1	14,173		人件費	35,613
				その他支出※1	7,373
	合計	131,777		合計	121,648
指定管理業務収支差額①		10,129			
自主事業		12,931	自主事業	14,119	
自主事業収支差額②		▲1,188			
収支差額(①+②)		8,941			
備考(※1 その他収入の主なものを記載) ・負担金 106千円 ・利息 1千円 ・雑収入 14,066千円			備考(※1 その他支出の主なものを記載) ・租税公課費 7,373千円		

※2 指定管理業務に係わるもののみ計上する。

令和2(2020)年度(前年度)

(千円)

収入			支出		
指定管理※2	指定管理料	83,600	指定管理※2	事業費	6,945
	利用料金収入	30,417		管理運営費	62,155
	その他収入※1	6,558		人件費	44,442
				その他支出※1	7,216
	合計	120,575		合計	120,758
指定管理業務収支差額①		▲183			
自主事業		11,958	自主事業	15,286	
自主事業収支差額②		▲3,328			
収支差額(①+②)		▲3,511			
備考(※1 その他収入の主なものを記載) ・負担金 20千円			備考(※1 その他支出の主なものを記載) ・租税公課費 7,216千円		

・利息	1千円	
・雑収入	6,537千円	

※2 指定管理業務に係わるもののみ計上する。

3 利用状況

	令和2(2020)年度 (前年度)	令和3(2021)年度
公園利用者	204,122人	271,524人

施設名(利用料金施設)	令和2(2020)年度 (前年度)	令和3(2021)年度
フィールドアスレチック	11,919人	14,105人
そり遊び広場	8,417人	10,285人
テニスコート	9,935人	8,256人
オートキャンプ場	10,734人	11,533人
サンサントワー	5,305人	7,353人
合計	46,310人	51,532人

施設名		令和2(2020)年度 (前年度)	令和3(2021)年度
緑の相談所	相談件数	80件	116件
	催し物回数 (延べ人数)	19回 (17,068人)	35回 (23,294人)
	講習会回数 (延べ人数)	4回 (31人)	11回 (87人)

4 サービス向上に向けた取組

<ul style="list-style-type: none"> 公園利用者とスタッフの安全を考慮し、徹底した新型コロナウイルス感染症予防対策及び感染拡大防止対策を施した。 具体的な取組：各施設にアルコール消毒液の設置及び施設の消毒。スタッフのマスク着用や検温。扇風機設置による換気の促進。施設利用の人数制限。 遊具施設や電気・水道設備などの定期的な安全点検を実施し、安全な施設の提供に努めた。 特にわんぱく広場やアスレチック施設は、直営の日常点検や定期点検に加え、専門業者による遊具の安全点検を実施し点検結果を踏まえた修繕を施すなど、来園者が安心して利用できる安全な施設の提供に努めた。 花の丘の再整備や展望塔付近のクリスマスローズの植栽、郷土の広場花壇、大池花壇、風車花壇を季節の花々で修景するなど、「花の見どころづくり」を進めた。 近隣の千本松牧場とのコラボ企画として、千本松牧場の商品をプール入場者にプレゼントした。 オートキャンプ場では、誰でも気軽に楽しめるクラフトコーナーを設置した。 ホームページやSNSを活用し、花の開花状況やイベント内容など旬な情報を提供した。 那須地域で盛んな駅伝やマラソンなど、公園を会場にした大会を開催し地域の特性に対応した公園管理運営をすすめた。 安全、安心な公園利用を図るため、施設及び駐車場の利用時間を日没に合わせたきめ細やかで適正な利用時間範囲に変更した。 コンソーシアムを組む栃木県造園建設業組合との協働により、園内全域に及ぶ枯損木や危険木の調査を実施し、その結果を踏まえ、景観の向上と倒木や枯れ枝落下による危険防止を図るための枯損木及び危険木の伐採を行った。(R3伐採実績：アカマツ26本、サクラ2本)
--

5 利用者意見への対応

利用者意見の把握方法				
<ul style="list-style-type: none"> 管理事務所に意見箱を常時設置し、ご意見票を回収 				
回収件数 58件				
主なご意見票の項目	良い	良い方	あまり良くない	悪い
公園内はきれいでしたか	66.1%	28.6%	1.8%	3.5%
公園の管理状況はいかがでしたか	63.0%	35.2%	1.8%	0.0%
花壇や樹木などの植物の管理状態はいかがでしたか	69.4%	26.5%	4.1%	0.0%
スタッフの対応はいかがでしたか	67.5%	30.2%	2.3%	0.0%
<ul style="list-style-type: none"> ホームページで意見を受付 イベントや緑の相談所の講座の参加者へアンケート調査を実施 那須野が原公園連絡協議会を開催し、意見・要望を聞き取り 				
主な利用者意見（苦情・要望）	対応			
<ul style="list-style-type: none"> 鯉に餌をあげる際に持参したお菓子やパンなどを勝手にあげている人が多数いてとても気になった。 	<ul style="list-style-type: none"> 鯉に持参したお菓子などをあげることは禁止しているため、巡視で見かけた際には注意することとしている。 			
主な利用者意見（積極的評価）				
<ul style="list-style-type: none"> いろいろな遊具があつて楽しかった。 アスレチックが楽しかった。また来たい。 遊具も整備されていて、トイレもきれいだった。 				

6 指定管理者による自己評価

成果のあった取組・積極的に取り組んだ事項・利用者満足度向上への取組
<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度は、新型コロナウイルス感染防止対策により、8月、9月の約2か月間施設の休業があった。そのため、那須野が原ウォークや緑の相談所行事がいくつか中止になったものの、公園利用者数は271,524人にもものぼり過去5か年での最高利用者数になった。 コロナ禍でお家時間が長かった反動か、県民の健康志向が高まり日常的にウォーキングやジョギングを楽しむ利用者が増加したことから、破損した園路の部分的な修理や、四阿など休憩施設の環境整備に取り組んだ。 基本的な新型コロナウイルス感染防止対策をはじめ、県の基準に準拠した対策を徹底したことから、公園利用者及び従業員から感染者は一切発生しなかった。 広報においては、Twitter や Instagram などのSNSを活用し、こまめに旬な情報を発信するなど、効果的な情報提供が利用者増に繋がった。 花の丘をはじめとする、郷土の広場花壇、大池花壇、風車花壇では、ボランティアと協働した花壇修景を施し、通年で花を楽しめる公園として魅力アップを図った。 松くい虫による枯松をはじめとする枯損木や危険木などを、年間作業予定量100本に対し593本を栃木県造園建設業組合との協働で伐採し、公園の景観を保持しながら安全で安心して利用できる公園づくりに取り組んだ。
新型コロナウイルス感染拡大予防に向けた取組

<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染対策として、「栃木県新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」に則り、利用者及び職員には基本的な感染予防対策を徹底した。 ・また、イベントを開催する際には、「イベント開催時の感染防止チェックリスト」による管理を実践し、利用者はもとより職員の感染者は発生しなかった。 ・今後も、県が発信するガイドライン等に準じたきめ細かな対応・対策を施し、感染者の発生及び感染拡大の防止に努め、安全で安心して利用できる公園づくりを進める。
今後改善・工夫したい事項
<ul style="list-style-type: none"> ・人件費や燃料費など、物価の高騰により公園管理費の増大が懸念されることから、多目的な業務に対応できるスタッフの育成や、節電、3R（リサイクル、リユース、リデュース）による手法で経費削減に努める。 ・当公園協会が設立50周年を迎えるにあたり、これまでのご愛顧に感謝する事業やイベントを実施する。 ・利用者から好評の「花の見どころづくり」を、引き続き郷土の広場、大池、花の丘、風車花壇で展開し、開花状況などをSNSで発信し集客を図りたい。 ・開園して以来30年を経過した公園の樹木は、巨木化し景観を損ねているほか、枝同士が重なり落下する危険度が高まっている。よって、栃木県造園建設業組合と枯損木や危険木の調査を行い伐採する。 ・展望塔の利用促進を図るべく、小学生絵画展や写真コンクール作品展を開催するなど、地域住民と連携しながら新たな情報発信基地としての役割を担う施設づくりをすすめる。

7 所管課による評価

項目	評価の内容	確認内容・所見等	評価
1. 住民の平等利用の確保	①住民の平等利用が確保されたか	適切に実施されている。	C
	②使用許可に関する権限が適正に行使されたか	所定の手続きに則り、適切な許可が行われている。	C
	③高齢者、障害者等に対する配慮はなされたか	高齢者や身体障害者に対し配慮するなど事業計画書どおりされている。また、除雪は障害者スペースや多目的トイレの周辺を優先的に実施している。	C
2. 施設の効用の最大限発揮	①施設の設置目的に沿った業務実施がなされたか	事業計画に基づき、施設の設置目的に沿った業務が実施されている。	C
	②施設の利用促進、県民サービスの向上が図られたか	「花の見どころづくり」等に力を入れ年間を通じて花のある状態を保持し利用促進を図った。	B
	③利用者満足度を把握し、満足度の向上が図られたか	利用者の満足度は昨年並みだった。	C
	④利用者からの意見、苦情に対して適切な対応がなされたか	要望・苦情に対して、適切且つ迅速に取組み対応している。	C
	⑤施設、設備、備品の維持管理や安全管理は適切になされたか	日常・定期点検を実施し、その記録が保管されているとともに、管理打合せ簿にて修繕の提案・修繕実施報告され、その修繕履歴が適切に保管されている。また、備品の管理は適切に実施されている。	C

	⑥指定管理者の創意工夫により業務改善等がなされたか	コロナ禍により多数のイベント・講座等が中止となったが、講座の代替としてクラフトコーナーを設置する等、創意工夫を図っていた。また、予定本数の6倍以上の枯損木を除去し、園内景観を維持しつつ、公園利用者の安全を確保した。	B
3. 管理を安定的に行う物的人的基礎	①組織体制は適正か	当該業務を概ね適切に遂行できる組織となっている。	C
	②収支は適正でバランスがとれたものか	概ね適正である。	C
	③経費の縮減に取り組んできているか	事業計画書どおり多目的、多用途に従事するスタッフを配置し人件費を削減するとともに、保険契約等は一括契約を行い経費削減に取り組んでいる。	C
	④人材育成は適切に実施されているか	公園管理に必要な資格の取得や技術と能力を向上するため、事業計画書に基づいた研修を実施した。	C
	⑤危機管理体制（事故、緊急時の対応）は確保されているか	緊急時連絡体制により、関係部署との連絡体制は確保できている。	C
	⑥県や関係機関との連携ができているか	県や関係機関と連携し、管理運営を行っている。	C
4. 個人情報保護	①個人情報の保護についての措置が計画どおり実施されているか	個人情報の保護に関する要領を定め、適切に保護している。	C
	②情報公開は適切になされているか	情報公開事務処理要領を定め、適切に運用している。	C
5. その他	①施設の特性にふさわしい自己評価がなされているか	適切な自己評価が行われた。	C
	②自主事業が計画どおりに実施されているか	コロナ禍により中止になったものもあるが、可能なものは感染症対策を行ったうえで適切に実施した。	C
	③イベント等を実施している場合は、地域との連携が図られているか	千本松牧場との企画、月例マラソンを実施した。	C
	④環境への配慮（騒音・公害対策、ごみ削減等）がなされているか	公園利用者にはごみの持ち帰りをお願いし、ごみ削減等に努めている。	C
	⑤その他管理運営上の特記事項（コロナ対策がなされているか等）	新型コロナウイルス感染症対策の徹底に努めた。コロナ禍で有料施設の利用者が減少する中、花の植栽に力を入れ、花壇の見せ方を工夫し、来園者の満足度向上に努めている。	C
総合的な評価			

全般的におおむね良好な管理運営状況である。コロナ禍で、健康志向が高まりウォーキングやジョギングの需要が高まったことから、破損した園路の部分的な修理や、休憩施設の環境整備に取り組むなど公園利用者のニーズを適切に把握し対応に努めている。また、「花の見どころづくり」に力を入れ、年間を通して花を楽しめるよう花壇修景に取り組み、さらにその開花状況などをSNSにて発信することで利用促進を図っており、こうした取組の結果、公園利用者数は過去5年間で最高の数字となっている。

今後とも創意工夫によるサービスの向上に努め、公園利用者数の増加につなげていってほしい。

※「評価」欄には、以下の指標により判定した結果を記載すること。

- A：事業計画に対して極めて優れた取組となっている。
- B：事業計画に対して優れた取組となっている。
- C：事業計画どおりの取組となっている。
- D：事業計画に対して劣る取組となっている。
- E：事業計画に対して極めて劣る取組となっている。